



福岡県宗像市

福岡県宗像市東郷1-1-1
 担当課:健康福祉部健康づくり課
 〒811-3492
 TEL 0940-36-1187 FAX 0940-37-3046
 【公式HP】<http://www.city.munakata.lg.jp/>
 【Eメール】kenkou@city.munakata.fukuoka.jp

本市のデータ

(1)面積 119.66km² (H22国調)

(2)人口 (人)

17国調	22国調
94,148	95,501

(3)世帯数

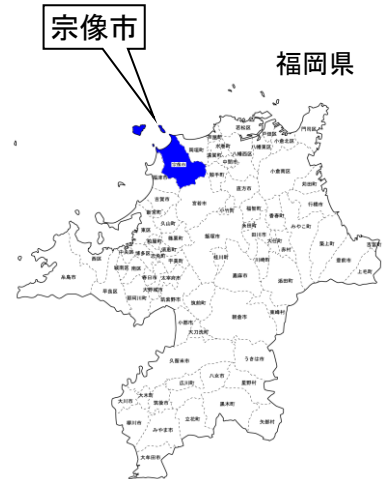
17国調	22国調
34,914	37,077

(4)沿革

平15.4.1合併
 (旧宗像市・旧玄海町)
 平17.3.28編入(旧大島村)

(5)産業構造

区分	就業人口 17国調	就業人口 22国調
1次	1,983人 4.8%	1,599人 3.8%
2次	8,074人 19.4%	8,036人 19.2%
3次	30,821人 74.1%	29,825人 71.2%
計	41,611人	41,906人



本市の概要

宗像市は、豊かな自然が残る「学術・文化都市」です。市内を東西に横断するJR鹿児島本線や国道3号線・495号線により、福岡・北九州への交通アクセスが充実し、住宅団地や福岡教育大学をはじめとする3つの大学、大型商業施設などが相次いで進出。市の総合文化施設である宗像ユリックスもあり、活気あふれる学術・文化都市として発展してきました。

平成15年に旧宗像市と旧玄海町が合併し、新生「宗像市」が誕生(2004年版東洋経済新聞社の「住みよさランキング・快適度」では全国28位)。平成17年には旧大島村と合併。現在は、市民と行政と一緒に、地域コミュニティや市民参画・協働によるまちづくりを進めています。

北の海岸線一帯は玄海国定公園に指定され、好漁場である玄海灘に面し、七夕伝説発祥の地と言われる県内最大の島・筑前大島や、遣唐使も立ち寄った沖ノ島が沖合60キロにあります。沖ノ島は、東アジア最大級の祭祀遺跡であり、宗像地域の古墳群を含めた「宗像・沖ノ島と関連遺産群」として世界遺産登録活動中です。



【沖ノ島】
 12万点もの国宝・重要文化財が出土した、海の正倉院といわれる島。周囲4キロ足らずの無人島。豊かな自然と遺産群が共生している。



【みあれ祭】
 毎年10月1日、姫神のみこしを乗せた御座船を囲んで約130隻の漁船が大島港を出発。地島、鐘崎、神湊など約15キロを1時間かけて勇壮な海上パレードが行われます。

支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

「第1次健康むなかた21(宗像市健康増進計画)」の中間報告において、こころの健康づくりに関する取組強化が必要とされています。

市では、健診と同時に「うつ病予防スクリーニング」を実施し、「健診を受診しましたか？」を合言葉に、「体」だけでなく「こころ」の病気についても、早期発見・早期治療を目指しています。また、こころの病気に対して正しい知識を持ち、体調や行動の変化に気づき、声をかけ、話を聴き、手を差し伸べるべ、必要に応じて専門家につなぎ、見守る環境を整えることができるよう、ゲートキーパー(自殺を思いとどまらせる支援者)の養成など、地域におけるセーフティネットの構築に取り組んでいきます。

<具体的な取組み>

福岡県地域自殺対策緊急強化基金事業を活用し、こころの健康づくり事業として、平成21年度から【普及・啓発事業】及び【人材養成事業】を実施。平成24年度からは、住民健診時の個別面談による「うつ病予防スクリーニング」にも取り組んでいます。

【普及・啓発事業】(講演会等)

主に地区コミュニティ単位で実施する「健康教室」で、中高年のうつ病に関する知識の習得を目的とした講演(医師、市保健師等)と、うつ病予防として栄養・運動・生活習慣の見直しを行うための健康運動指導士による研修(玄米ニギニギ体操等)を同時開催。

○H21年度 「楽しく健康づくり～うつ病・認知症のことを知ろう～」(地区コミュニティ／1回116人)

講師; 福岡病院 理事長 佐々木裕光氏、健康運動指導士 西内久人氏

○H22年度 「楽しく健康づくり～うつ病のことを知ろう～」(地区コミュニティ／9回453人)

講師; 市保健師、健康運動指導士 西内久人氏他

○H23年度 ①「楽しく健康づくり～うつ病・認知症のことを知ろう～」(地区コミュニティ／7回260人)

講師; 市保健師、健康運動指導士 西内久人氏

②「こころも、身体も、健康に」(全市民対象／1回155人)

講師; 名古屋大学大学院 教授 下村吉治氏、

北九州いのちの電話 事務局長 川尻正之氏、健康運動指導士 西内久人氏

【普及・啓発事業】(うつ病予防スクリーニング)

市住民健診(地域健診・センター健診)において、65歳未満の受診者に対し、「こころの健康づくり質問票(K6)」を送付し、質問票回収時に、保健師による「うつ病予防スクリーニング」を実施。(H26年度から普及・啓発事業として実施。H23～H25年度までは対面型相談支援事業として実施。)

○H23年度 福岡県精神保健福祉センターの協力により、10月5日の市住民健診(地域健診)会場で、試験的に「うつ病予防スクリーニング」を実施。

○H24年度 市住民健診の問診票等送付時に対象者へ「こころの健康づくり質問票(K6)」を同封。

①地域健診; 健診当日、全検査項目終了後に質問票を回収、うつ病予防スクリーニングのフローチャートに添って、保健師による対面でのスクリーニングを実施。

②センター健診; 会場都合により、郵送での質問票回収後、保健師による電話フォロー。

○H25年度 センター健診についても、対面によるスクリーニングが可能となり、地域健診と同様に実施。(面接者数: 地域健診2,072人 センター健診1,890人)

○H26年度 市住民健診(地域健診・センター健診)において、保健師による対面のスクリーニングを継続。福岡県精神保健福祉センター、宗像・遠賀保健福祉環境事務所と合同カンファレンス(事例検討会)を開催予定。

【人材養成事業】

市職員、地域の介護支援専門員、民生委員等、抑うつ状態や認知症の人と接する機会が多い人を対象に、うつ病等の精神疾患への理解を深め、その支援方法を習得するための研修会を開催。また、市民、市職員へパンフレット等を配布。

○H21年度 「うつ病、自殺予防研修会」(市職員対象／6回449人)

講師; 福岡病院 理事長 佐々木裕光氏他

<具体的な取り組み>

- H22年度 ①居宅介護支援事業所ケアマネージャー研修(ケアマネージャー対象/1回99人)
講師;福岡病院 理事長 佐々木裕光氏、地域活動支援センター 施設長 占部幸子氏
②民生委員児童委員協議会研修会(民生委員児童委員対象/1回127人)
講師;日本赤十字九州国際看護大学 教授 石橋通江氏
- H23年度 消費生活センター職員等研修会(消費生活センター及び関連課職員対象/1回20人)
講師;福岡教育大学 保健管理センター所長 宮田正和教授
- H24年度 「ゲートキーパー養成説明会」
(市内事業所関係者、地区コミュニティ健康福祉部会員、民生委員等対象/1回120人)
講師;NPO法人自殺対策支援センター ライフリンク 代表 清水康之氏
- H25年度 ①「自殺をしない・させないまちづくりへ～私たちに何ができるか～」
(市民、市内保育園・幼稚園・小中学校職員、関連課職員、民生委員等対象/1回56人)
講師;NPO法人自殺対策支援センター ライフリンク 代表 清水康之氏
②「命をささえる地域の見守り～遺族支援活動を通じて～」
(市民、市内保育園・幼稚園・小中学校職員、関連課職員、民生委員等対象/1回55人)
講師;NPO法人 自死遺族支援ネットワークRe 代表 山口和浩氏
- H26年度 「ゲートキーパー養成講演会」(予定)

【その他;老年期(65歳以上)におけるうつ病予防】

- ～H23年度 生活機能の低下を早期発見し、うつ病予防教室の活用や専門医療機関における早期治療へとつなげるため、介護予防健診を実施。
- H24年度～ ①「要介護認定を受けていない人」で、誕生月に「65歳以上奇数年齢になる人」に対し、基本チェックリスト(アンケート)送付。郵送で回収し、認知症・うつ・閉じこもりの有無や、運動器の機能・口腔機能・栄養状態を確認し、介護予防事業対象者を把握、介護予防教室を実施。
②チェックリストの「うつ状態のチェック項目」に該当した者は、ハイリスク者として家庭訪問を実施。